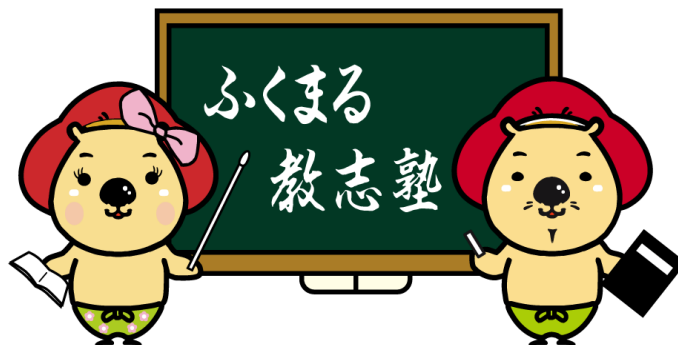


第5回 ふくまる夢たまごセミナー



日 時 9月15日(金) 18:00~20:00
場 所 市庁舎 7階大会議室

内 容 池田の人権教育について

【前編】

講師 奥田 雄大 先生 (池田市人権教育研究協議会事務局長)

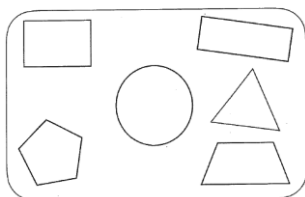
【後編】

講師 山際 博 先生 (元池田市立秦野小学校校長)

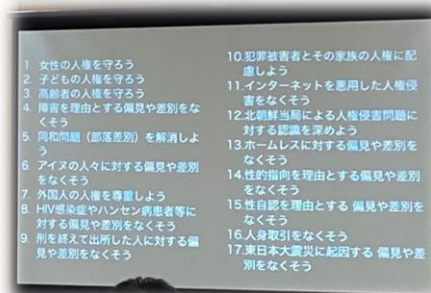


9月15日18時、13名の塾生が出席し、第5回ふくまる夢たまごセミナーが始まりました。最初に、梶田指導主事より、お二人の講師の方が紹介されました。

前編は、奥田先生です。最初に、奥田先生から、6個の図形の中に「これぞ自分」と思える事柄を書く「アイデンティティの細胞」というワークを行っていました。



「自分が何者であるか」を考えることにより「人権とは何か」に迫り、これを踏まえたうえで、17の個別の人権課題を考えました。



このプリント、
大事なやつだから
お母さんに忘れずに
渡すように。

次に、奥田先生から「ことばカード」が提示され、塾生は、ことばカードの言葉が、誰かの存在を否定したり、場の多様性を損なったりしていないかを話し合いました。

山際先生からは、「クラス全員が楽しめるお楽しみ会」という議題で、子どもたちが生き生きと学級会を進めていく過程をお話いただきました。Aさんが参加できないドッジボール大会でなく、Aさんが参加できないからやめるのではなく、Aさんも含めた全員が楽しめるオリジナルルールを話し合いで作っていく事例でした。



次に、集団づくりのワークとして、インドネシア国籍で、自分に自信がなく、自分の思いを伝えることが苦手な児童の課題について、取り組みの視点と具体を考えてみようという提示されました。山際先生の「人権教育の基礎は集団づくりにある」という言葉が響きました。

お二人の講演から塾生は、もっと人権について考えなければならないこと、そして、人権とは、一人ひとりが人間として大切にされ、生きていくために、人権尊重の価値観、態度を育て、行動へと向かわせるための総合的な教育活動であることを実感したようです。

<塾生の感想から>

○ 「ことばカード」で正直何が問題なのかわからず、同じグループに人に教えてもらって、恥ずかしくなりました。専門科目の勉強だけでなく、しっかり勉強しないといけないと改めて感じました。



○ 今回のセミナーを通して、二つのことに気づいた。一つ目は、人権教育が「行動へ促す」までをめざしていること、二つ目は、「できないからやめる」ではなく、「新しくつくる」ことが人権教育だということだ。今後も、正しい知識を、判断力を培っていきたい。